

## 第4回 知立駅周辺整備計画検討委員会 議事録

日時：平成25年 2月22日（金）

午前10：00～12：00

場所：知立市中央公民館 中会議室

		氏名	役職	出欠席
1	学識経験を有する者	磯部友彦	中部大学教授	出席
2	各種団体を代表する者	藤澤貞夫	知立市都市計画審議会会長	出席
3		新美文二	知立市商工会会長	出席
4		平澤信幸	区長会長	出席
5		塚本文雄	知立ライオンズクラブ会長	出席
6		坂田幸恵	地域婦人会連絡協議会会長	出席
7		風間勝治	知立市商店街連合会会長	出席
8		蔭山尚久	前青年会議所理事長	出席
9	公募市民	東繁宏	公募市民（男性）	出席
10		阪野嘉子	公募市民（女性）	出席

（オブザーバー）

- 愛知県都市計画課長（代理：片山 貴視、菅沼 克文）
- 愛知県都市整備課長（代理：浅井 厚視、加藤 敬、近藤 一也）
- 知立建設事務所長（代理：神戸 譲、大見 敬一）
- 安城警察署長（代理：金澤 重文）

（傍聴者）

1名

配付資料	1. 第4回知立駅周辺整備計画検討委員会資料 2. 知立駅周辺整備計画見直し案（パブリックコメント案）
------	--

○会議の公開について

・知立駅周辺整備計画検討委員会は、「知立市審議会等の設置及び運営に関する取扱要領」に基づき委員会は原則公開とする。ただし、非公開情報を審議する場合は非公開とする。

1. あいさつ

2. 都市計画道路の見直し案について

・事務局により「第4回知立駅周辺整備計画検討委員会資料」「知立駅周辺整備計画見直し案（パブリックコメント案）」を説明する。

<<質疑応答>>

（藤澤委員） 駅前広場の地元意見交換会において、段階的な整備について理解は得られたのか。

- (事務局) 商業者代表からは最終的にも東西交通の確保について意見等あったが、第2段階の整備までにはまだまだ時間を要し、知立南北線が開通するまで本町堀切線が知立駅アクセスの主道路である間は、東西交通を確保するというで何とかご理解いただいている。
- (藤澤委員) 第2段階における一般車の知立駅へのアクセスはどうか。
- (事務局) 第2段階の一般車の動線は、全て知立南北線からとなり、本町堀切線、新富線からのアクセスはできなくなる。
- (蔭山委員) 今日の配布資料のうち、市民の方々が見ることのできる資料はどれになるのか。
- (事務局) 「知立駅周辺整備計画見直し案」と書かれた概要版と「知立駅周辺整備計画見直し案(資料編)」である。
- (阪野委員) バス、タクシー、一般車の駅前広場内の動線は分離できないのか。
- (事務局) バス事業者からは一般車が乗降場で停まっても、バスが通れる幅員は確保して欲しいとの意見はいただいている。駅前広場内の幅員については、バスの軌跡を考慮して決めていく予定である。
- (磯部委員長) バス、タクシー事業者との協議は行われているのか。
- (事務局) 平成23年度レイアウト見直し素案の際に協議している。
- (阪野委員) 真ん中のくつろぎスペースをなくし、バス、一般車を完全に分離するレイアウトも考えられるのではないか。
- (事務局) ご意見としていただいております。限られた面積ではあるが、今後検討させていただく。
- (磯部委員長) 十分な対策を検討していただきたい。車線によって完全分離する事例もある。
- (磯部委員長) 駅前広場レイアウトにおける一般車乗降場のカーブに描かれているハッチングは何を意味するのか。
- (事務局) 公安協議において、一般車乗降場のカーブ部分には安全上の問題から車が止められないような対策をせよとの意見をいただいたので、ハッチングしている。
- (磯部委員長) ハッチングしてあるところは通ってはいけない、車を停めてはいけないところというのは分かるが、あまりにも広すぎる。一般車乗降場を作ったわりに駐車スペースが少ないので、今後検討が必要と考える。
- (事務局) 磯部委員長がおっしゃられたとおり、駅前広場の中のレイアウトについては、検討の余地があると考えている。
- (藤澤委員) 知立南北線の断面構成のうち停車帯1.5mを確保するのか。また、これだけ広い停車帯があれば一般車の送迎において駅前広場に入らなくても車を止められるのではないか。
- (事務局) 停車帯1.5m確保を検討している。道路交通法上、車の駐車を認めることはできないが、実際はそういった利用の可能性も考えられる。
- (新美委員) バスについては、企業バスも想定しているのか。

- (事務局) 公共交通エリア内においては、名鉄の路線バスや市のミニバスを想定している。
- (新美委員) 企業バスについては、どのように対応していくのか。
- (事務局) 限られた面積内で企業バス全てに対応していくのは困難と考えている。今後、企業との調整にもよるが、マイクロバス程度であれば一般車乗降場の利用を想定したレイアウトの検討が必要である。一方、大型バス等であれば、高架下利用も視野に入れながら企業バス対策をしていく必要があると考えている。
- (新美委員) 観光バス等もあるので重要な問題と考えている。
- (事務局) 公安協議の際にも、30m道路の活用方法については相談させていただいている。検討の余地はあると考えているが、道路区域に乗降場を設置するのは難しいかと思う。今後、県との協議をふまえて、検討していく。
- (平澤委員) 駅北側ばかりの議論になっているが、駅南側や再開発ビルと合わせていけば処理できるのではないかと思う。  
区長会において駅前のPRビデオを見せていただき、駅周辺地区以外の区長にも好評だったので、来年度もやっていただきたい。
- (事務局) 駅前のPRビデオに関しては、来年度の区長会においても紹介させていただくよう、予定したいと思う。
- (平澤委員) 地元意見交換会において、関わりのある町の出席者が少ないのではないか。
- (事務局) 地元意見交換会の出席者人数については、区長さんと日程等調整させていただいたが、たまたま寒い日が続いてしまった。前は20名前後の方に出席いただいている。
- (平澤委員) 駅周辺地域の出席者が増えるようにやっていただきたい。  
パブリックコメント案の文章がかたい。もう少しやわらかな文章にさせていただき、意見を求めた方がいいのではないか。
- (事務局) 知立駅周辺整備計画見直し案意見募集の概要については、文章を修正して公表していく。
- (新美委員) 企業バスなどを駅から離れた位置に停めて、まちを戦略的に歩かせることを考えて欲しい。まち歩きエリアであれば歩行者、自転車、車椅子の通りやすい道が必要だ。企業バスを運行している事業者には状況を説明しているのか。
- (藤澤委員) 知立南北線西側については、大きい土地をもった地権者が多い。地権者は当面建物を建てずに様子を見てから建てると言っている。私の考えではあるが、企業向けの駐車場に貸し出す人もいるのではないか。
- (事務局) 企業バスの取扱いについては、重要な案件ではあるが、まだ完全に調整しきれていない。今は駅前広場の車の流れ、人の流れといった基本をまとめようとしている。中のレイアウト等の詳細についてはレイアウト見直し案をベースに検討していき、その中で企業の意向等もふまえ、多方面から検討していく。もう少しお時間をいただき、まとめていきたい。  
説明会等の出席者については、市民の関心を高めていく必要がある。市民へのPRも必要であるが、現場が進めば実感もわき、関心が高まってくると思う。
- (阪野委員) 駅前広場のレイアウトにおいて面積が問題となるのであれば、鉄道高架により立体となるのだから、駅前広場も立体利用できないのか。

(事務局) 現在の鉄道高架事業の計画では、改札口が1階となるため平面で検討している。再開発ビルまでデッキ等で連絡してはどうかといった意見もいただいているが、整備状況を見ながら必要に応じて検討していくことになると思う。

(阪野委員) 1階改札口はもう変更できないのか。

(事務局) 高架構造物等の高さが高くなり、事業費に影響するので変更は難しいと考える。

(磯部委員長) パブリックコメントを実施する段階でこれだけ意見が出てくるのは、計画の前提条件が資料にないからではないか。パブリックコメント時には、その辺りの資料も準備していただけたらよい。

この会議をまとめる立場から言うと、委員の方々からの意見と市側の提供した資料が完全に一致しているわけではない。市ホームページに会議結果が掲載されていないので、議事録を整理して閲覧できるようにしていただきたい。

(事務局) パブリックコメントに合わせて公表するようにする。

(風間委員) 駅前広場の段階的整備に関して概ねの合意が得られたことは喜ばしいことである。ただ、2段階目の整備になった時には改めて効果、理由等について整理していただきたい。第2期施行の鉄道高架事業という形で道路事業中心となるのか駅南の区画整理に入っていくと思うが、知立南北線の未整備状況が続き、代替路線、迂回路しかない不十分な状況で駅周辺整備が進んでいく。駅南土地区画整理事業と合わせて知立南北線の整備ができるような手法を継続して検討していくことが理想と思う。整備が進んだ実態を見ると感じ方も変わっていき、コミュニティ道路化しても何ら問題はないというイメージ作りができると思う。市の方は自信をもって効果、実態、その先にあるまちづくりについて進めていただければいいと思う。商店街については、ハード整備をしてもらうのに商店主が何も努力しないでは何の意味もない。環境整備に関しては我々組織の責任でもあるので、連携していければと思う。

それから、30m道路の活用については、十二分に今後検討していただきたい。企業バスの問題も商工会で出ているので、駅南側の有効活用についても検討が必要と考える。先の話になるので答弁はなかったが、その辺りの検討についてはどうか。

(事務局) 鉄道高架が完了した後、仮線用地を活用して一般車やタクシーでのキスアンドライドを想定した整備は必要であると考えている。また、駅南土地区画整理事業をふまえた形で今後検討させていただく。知立南北線の整備についても何とか早期に実現できるように検討していく必要があると考えている。

(風間委員) 換地等の手続き論はあるが、具体的な方向性は示していただきたい。道路はネットワーク化されて機能する。鉄道の高架下利用については協議されているか。高架下利用については早々に切実な要望をしていかないといけない。これに関しては行政サイドだけでなく、民間協議会を立ち上げて名鉄と交渉する場を設ける必要があるのではないかと思う。市長は2期目の当選の時に、マスコミ等報道関係者にみんなで検討していける場を設けたいとおっしゃられていたが、この際意見をお伺いしたい。

(林市長) 鉄道高架事業をいいものにしていくためには、名鉄、県、市の3者が信頼関係をもってやっていく必要がある。これについては、東海市や名古屋市など関連の市長さん、県の建設事務所の所長さん等とも調整させていただきながら、しっかりと進めさせていただきたい。その中で、市民の皆様方と一緒に進めていく必要があると考えている。

(風間委員) 協議会立ち上げを早くしないと時間が経過してしまう。各協議会をひとつに統括するような協議会を設けないといけないのではないか。早々に立ち上げを検討していただきたい。

- (事務局) 市民の声をどういう風に聞いていくかという中で協議会等組織づくりが必要なことは認識している。まずは市民に関心を持っていただいた中で組織をつくらないと意見も出てこないで、少し時間をいただきながらタイミングをみながら検討させていただく。
- (磯部委員長) 委員会の現状としては、委員の意見と市側の提供した資料が一致していない。パブリックコメント案は市がつくったという解釈でよいか。検討委員会の成果として表に出るものではないという理解でよいか。
- (事務局) 委員会の意見をふまえ、市がまとめたものであり、市民に幅広く意見をいただくという理解でよい。
- (磯部委員長) 委員会としては知立駅周辺整備についてまだまだ検討中だと言えないことを確認しておく。
- (蔭山委員) パブリックコメント全体として、時間軸がない。どのタイミングでどうなるという時間軸なくして意見を求めているものか。時間軸がないので、具体性のある駅前広場に意見が集中してしまうのではないかと。まだ確定ではないが、時間軸を示した方がいいのではないかと思う。
- (事務局) 時間軸については、内部での検討は行なっているので皆さまにお示ししてご理解いただける方法等を今後検討させていただきたい。パブリックコメントでは、計画見直し案についての方向性を確認していきたい。
- (新美委員) 変更できること、できないことをはっきりしていただきたい。変えられるもの、変えられないものを明確にして意見を聞いていくべきではないか。コンセプトをしっかりと伝えれば説明しやすいのではないかと。
- (磯部委員長) 今日のまとめであるが、パブリックコメントの資料に関しては特に問題はなかったと思う。意見募集の概要については、文章を修正すること。その他資料についても閲覧できるよう整理しておいていただきたい。また、検討委員会の検討内容等についても分かるようにしていただきたい。

### 3. その他

・パブリックコメントに関しては広報3/1号に掲載する。また、資料は今一度検討させていただくが、市ホームページに掲載する。

パブリックコメントが終わったら、とりまとめを行い、5月以降に第5回検討委員会を開催する予定であり、時期が近づいた段階で改めて日程等調整させていただくので、よろしく願います。